

消 防 統 計

令和 8 年上半期

西尾市消防本部

凡 例

1. 西尾市消防本部管轄区域における火災、救急、救助について、原則として令和8年上半期の統計を収録し、一部の表には過去4年分を比較対象のため掲げてあります。
2. 小数点の数値は四捨五入しています。
端数調整をしていないため、合計が100パーセントとならない場合があります。
3. 令和8年上半期数値は、令和8年7月1日現在の速報値としての公表であり、精査の結果、数値を修正する可能性があります。
なお、令和7年以前の数値は確定値となります。

火災統計

目次

1	令和8年上半期 火災概要	1
2	火災概況	2
3	火災種別出火件数の構成割合	3
4	月別火災発生状況	3
5	出火率・出火件数及び人口の増加率	3
6	地区別出火件数の推移	4
7	覚知方法別出火件数	4
8	損害額の推移	5
9	火災種別損害額	5
10	出火原因別出火件数	6
11	時間帯別火災発生状況	7
12	曜日別火災発生状況	7
13	火災による死傷者の推移	8
14	火元用途別建物火災の損害状況	8
15	建物火災の損害額及び焼損床面積の段階別出火件数	9
16	火災種別出火件数の推移	9
17	初期消火器具等の使用状況	9
18	主な出火原因の推移	10

1 令和8年上半期 火災概要

(1) 出火件数

令和8年上半期における出火件数は33件で、前年同期の31件と比べ2件増加した。

出火件数を月別にみると、2月が14件（42.2%）と最も多く、次いで1月が6件（18.2%）、3月が5件（15.2%）、4月が4件（12.1%）、5月及び6月が各2件（各6.1%）の順であった。

さらに、出火件数を地区別にみると、「西尾地区」が8件（24.2%）で最も多く発生し、次いで「一色地区」が7件（21.2%）、「平坂地区」が5件（15.2%）、「吉良地区」が4件（12.1%）、「三和地区」及び「幡豆地区」が各3件（各9.1%）、「寺津地区」、「福地地区」及び「室場地区」が各1件（各3%）、米津地区が0件の順であった。

(2) 死傷者

火災による死者は0名、負傷者は4名であった。

(3) 出火原因

主な出火原因別にみると、「火入れ」が4件（12.1%）と最も多く、次いで、「こんろ」及び「電気機器」が各3件（各9.1%）、「放火・放火の疑い」、「焼却炉・炉」及び「ストーブ」が各2件（各6.1%）、「たばこ」が1件（3%）であった。またこれらに分類されない「その他」及び「不明・調査中」が各8件（各24.2%）であり、「その他」の内訳は、溶融鉄による着衣着火、グラインダーによる火花等であった。

2 火災概況

区 分	単位	令和8年 (A)	令和7年 (B)	増減数 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B)×100 (%)
出火件数	件	33	31	2	6.5
建物		16	15	1	6.7
林野		2		2	皆増
車両		1	3	△ 2	△ 66.7
船舶					
航空機					
その他		14	13	1	7.7
焼損棟数	棟	20	17	3	17.6
全焼		5	2	3	150.0
半焼		1	1	0	0.0
部分焼		2	5	△ 3	△ 60.0
ぼや		12	9	3	33.3
建物焼損床面積	㎡	2,378	325	2,053	631.7
建物焼損表面積		213	15	198	1,320.0
林野焼損面積	a	21		21	皆増
死者	人		2	△ 2	△ 100.0
負傷者		4	5	△ 1	△ 20.0
り災世帯数	世帯	6	12	△ 6	△ 50.0
全損			1	△ 1	△ 100.0
半損			1	△ 1	△ 100.0
小損		6	10	△ 4	△ 40.0
り災人員	人	15	39	△ 24	△ 61.5
損害額	千円	167,839	95,432	72,407	75.9
建物		167,712	74,156	93,556	126.2
林野					
車両		105	410	△ 305	△ 74.4
船舶					
航空機					
その他		22	20,866	△ 20,844	△ 99.9
出火率		2.0	1.8	0.2	—

1 「全焼」とは、建物(収容物を除く。)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。

2 「半焼」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

3 「部分焼」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。

4 「ぼや」とは、建物(〃)の焼損部分の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10%未満であり焼損床面積が1㎡未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。

5 「全損」とは、建物(収容物を含む。)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。

6 「半損」とは、建物(〃)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%以上のもので全損に該当しないものをいう。

7 「小損」とは、建物(〃)の焼損部分の火災損害額が火災前の建物の評価額の20%未満のものをいう。

8 出火率は、人口1万人に対する出火件数をいう。(令和8年6月1日現在 168,635 人)

3 火災種別出火件数の構成割合

火災種別 \ 年	令和8年 (%)	令和7年 (%)
建物火災	48.5	48.4
林野火災	6.1	
車両火災	3.0	9.7
船舶火災		
航空機火災		
その他火災	42.4	41.9

4 月別火災発生状況

月別 \ 件	計	火災種別					
		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
1月	6 (18.2%)	5					1
2月	14 (42.4%)	5		1			8
3月	5 (15.2%)		2				3
4月	4 (12.1%)	3					1
5月	2 (6.1%)	2					
6月	2 (6.1%)	1					1

※ ()内は令和8年火災件数 33件に対する割合(%)をいう。

5 出火率・出火件数及び人口の増加率

区分 \ 年	令和8年	令和4年	増加率 (%)
出火率	2	2.1	△ 4.8
出火件数 (件)	33	35	△ 5.7
うち建物火災	16	15	6.7
人口 (人)	168,635	170,694	△ 1.2

※ 人口は令和8年6月1日現在とする。

6 地区別出火件数の推移

地区 \ 年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
西尾地区	12	4	5	4	8 (24.2%)
平坂地区	7	3	6	6	5 (15.2%)
寺津地区	2		4	3	1 (3%)
福地地区	2	3	3	2	1 (3%)
室場地区	2	1			1 (3%)
三和地区		2	1	3	3 (9.1%)
米津地区	3		2	2	
一色地区	3	9	1	2	7 (21.2%)
吉良地区	2	2	2	6	4 (12.1%)
幡豆地区	2	1	3	3	3 (9.1%)
計	35	25	27	31	33

※ ()内は令和8年火災件数 33件に対する割合(%)をいう。

7 覚知方法別出火件数

火災報知専用電話(NTT加入)	1 件	3.0 %
火災報知専用電話(NTT加入除く)	1 件	3.0 %
火災報知専用電話(携帯)	23 件	69.7 %
加入電話(固定)	1 件	3.0 %
加入電話(携帯)	件	%
駆け付け通報	件	%
事後聞知	7 件	21.2 %
その他	件	%

※ 火災報知専用電話とは、通報者等が行う火災や救急等に関する緊急通報を、消防機関が受信するための専用電話をいう。

8 損害額の推移

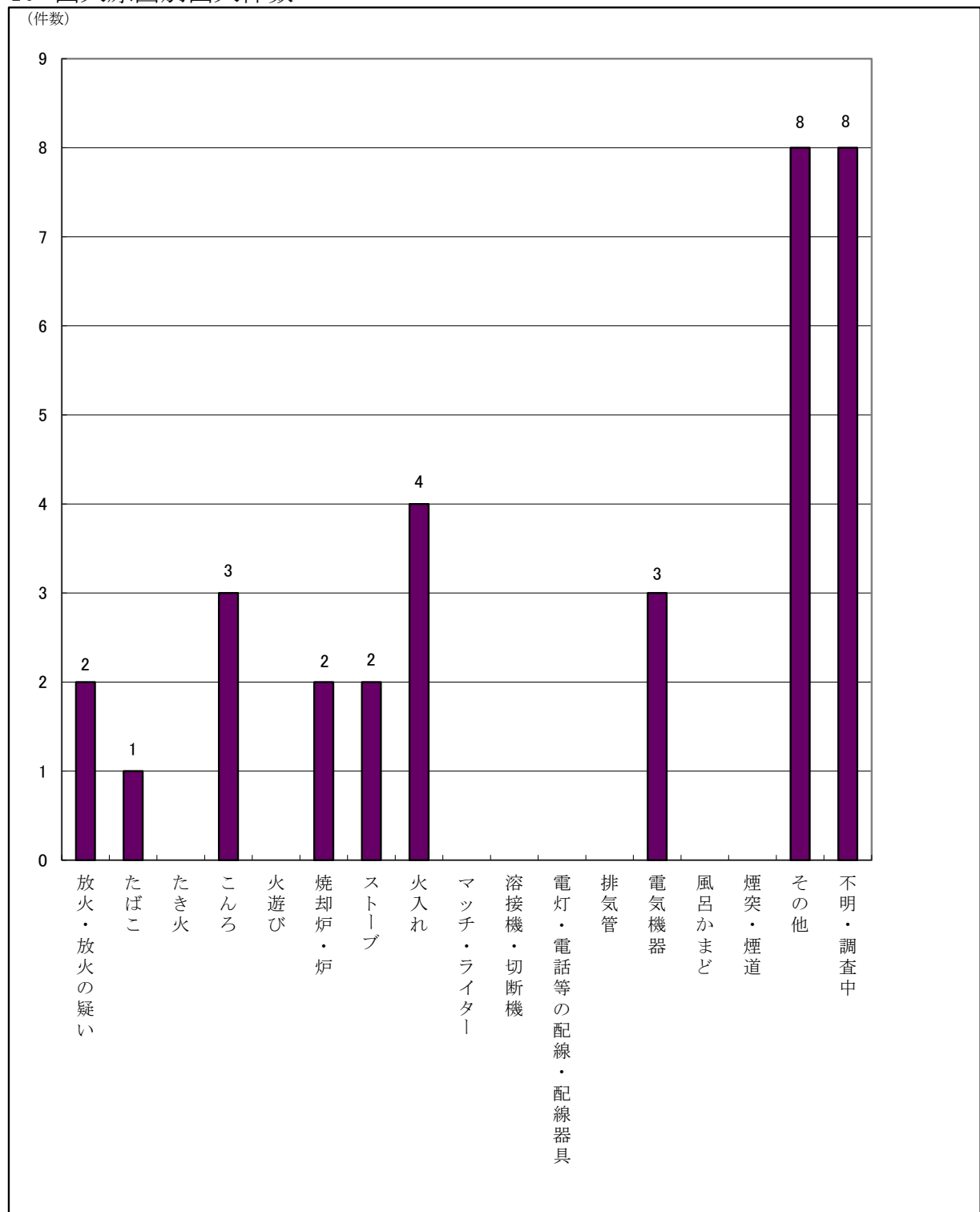
年 損害額		令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
損害額(千円)		129,806	128,105	87,964	95,432	167,839
	指数	100	99	68	74	129
1件当たり損害額(千円)		3,709	5,124	3,258	3,078	5,086
	指数	100	138	88	83	137
1ヶ月当たり損害額(千円)		10,817	10,675	7,330	7,953	13,987
	指数	100	99	68	74	129

※ 指数については、令和4年の損害額を100とした比をいう。

9 火災種別損害額

火災種別	区分	損害額 (千円)	割 合 (%)	1件当たりの損害額 (千円)
建 物 火 災		167,712	99.9	10,482
林 野 火 災				
車 両 火 災		105	0.1	105
船 舶 火 災				
航 空 機 火 災				
そ の 他 火 災		22	0.0	2
計		167,839	100	平均 5,086

10 出火原因別出火件数



11 時間帯別火災発生状況

種別 時間帯別	計	火 災 件 数					
		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
	33	16	2	1			14
0～1	1	1					
1～2							
2～3							
3～4							
4～5							
5～6	1	1					
6～7	1	1					
7～8							
8～9							
9～10							
10～11	3	2					1
11～12	3	2					1
12～13	4	1	1				2
13～14	4	1					3
14～15							
15～16	4	1					3
16～17	3	1	1				1
17～18	1						1
18～19	1	1					
19～20							
20～21	2			1			1
21～22	3	2					1
22～23	2	2					
23～24							
不 明							

12 曜日別火災発生状況

火災種別 曜日別	計	火 災 件 数					
		建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
	33	16	2	1			14
日 曜 日	5	2		1			2
月 曜 日	4	1					3
火 曜 日	6	2	2				2
水 曜 日	3	1					2
木 曜 日	4	3					1
金 曜 日	4	4					
土 曜 日	7	3					4
不 明							

13 火災による死傷者の推移

年 死傷者	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
死 者(人)	1	1	3	2	
負傷者(人)	5	3	7	3	4

※ 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。

14 火元用途別建物火災の損害状況

用途別 区分	出 火 件 数			焼損床面積 (㎡)	損 害 額 (千円)
	令和8年	令和7年	増減率(%)		
住 宅 (併用含む)	5	10	△ 50.0		1,208
共 同 住 宅	1	1	0.0		3
工場・作業場	4	3	33.3		28
倉 庫					
診 療 所					
飲 食 店		1	△ 100.0		
そ の 他	6		皆増	705	47,030
計	16	15	6.7	705	48,269

1 火元用途とは、消防法施行令別表第一による用途別の区分をいう。

2 損害額は、火元建物の損害額であり、類焼による損害額は含まず。

15 建物火災の損害額及び焼損床面積の段階別出火件数

損 害 額 (千 円)	出 火 件 数 (件)	焼 損 床 面 積 (m ²)	出 火 件 数 (件)
1未満	9	1未満	13
1～10未満	2	1～20未満	1
10～100未満	2	20～40未満	
100～500未満		40～60未満	
500～1,000未満	1	60～80未満	
1,000～5,000未満	1	80～100未満	
5,000～10,000未満		100～200未満	1
10,000以上	1	200以上	1
計	16	計	16

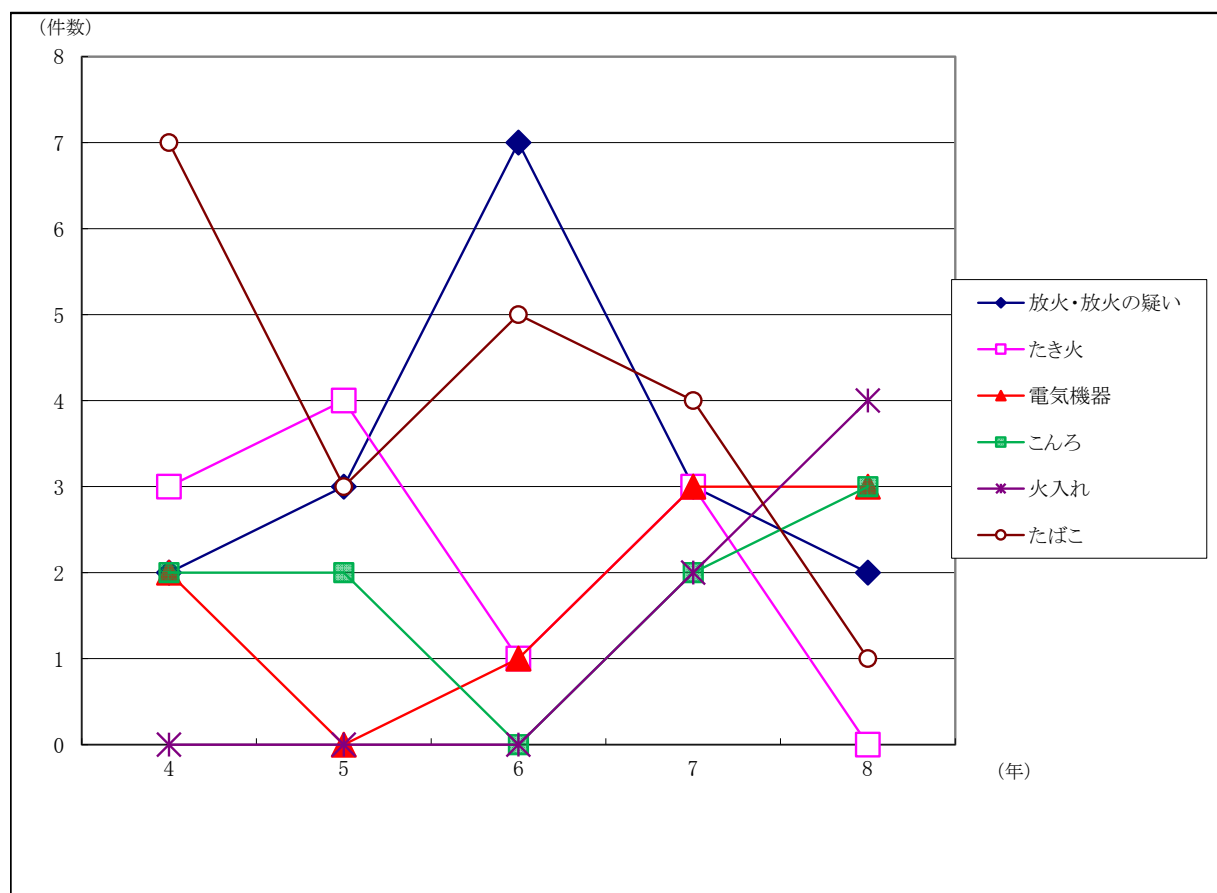
16 火災種別出火件数の推移

火災種別 年別	計	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機火災	その他火災
令和4年	35	15	2	4			14
令和5年	25	12	1	2			10
令和6年	27	14		5			8
令和7年	31	15		3			13
令和8年	33	16	2	1			14

17 初期消火器具等の使用状況

区 分	消火器	簡易消火用具 水バケツ等	水道、浴槽、汲 み置き等の水を かけた	寝具、衣類等 をかけた	もみ消した	その他	初期消火なし
使用状況	7		7		1	4	14
奏効件数	5		5			2	

18 主な出火原因の推移



救急統計

目 次

1	令和 8 年上半期 救急業務の概要	1
2	救急出動件数及び搬送人員	2
3	署所別救急出動件数及び支援出動件数	3
4	地区別救急出動件数及び搬送人員	3
5	年齢別搬送人員	4
6	傷病程度別搬送人員	4
7	出動件数の推移	4

1 令和8年上半期 救急業務の概要

(1) 出動件数

令和8年上半期における救急出動件数は3,891件で、前年の3,970件と比べて79件減少した。

救急出動件数を地区別にみると「西尾地区」が1,329件（34.2%）と最も多く発生し、次いで「一色地区」が528件（13.6%）、「吉良地区」が503件（12.9%）、「平坂地区」が411件（10.6%）、「幡豆地区」が267件（6.9%）、「三和地区」が247件（6.3%）、「福地地区」が221件（5.7%）、「寺津地区」が163件（4.2%）、「米津地区」が138件（3.5%）、「室場地区」が82件（2.1%）の順であった。市外への出動は2件（0.1%）であった。

また、725件の支援出動があり、前年の776件と比べて51件減少した。救急出動の5件に1回は、消防隊が救急隊の活動を支援している。

(2) 事故種別

事故種別をみると「急病」が2,635件（67.7%）と最も多く、次いで「一般負傷」が590件（15.1%）、「交通事故」が261件（6.7%）、「自損行為」が24件（0.6%）、「労働災害」及び「運動競技」が各19件（各0.5%）、「火災」が12件（0.3%）、「加害」が9件（0.2%）、「水難」が3件（0.1%）、「自然災害」が0件の順であった。「その他」は319件（8.2%）であった。

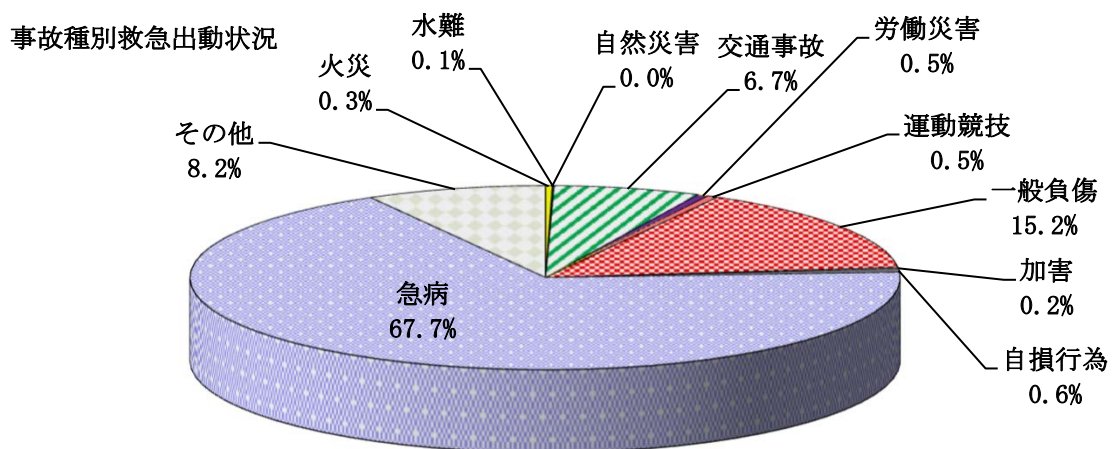
(3) 搬送人員

搬送人員は3,677人で、前年の3,732人と比べ55人減少した。

搬送人員全体に占める65歳以上の高齢者は2,333人（63.4%）で、過半数を占めた。

2 救急出動件数及び搬送人員

事故種別			火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
月別	区 分	合 計											
1	出動件数	734	3			39	4	5	98		2	523	60
	搬送人員	689	2			37	4	5	93		2	487	59
2	出動件数	667	2		1	49	7	3	111		5	431	58
	搬送人員	636				49	7	3	106		5	410	56
3	出動件数	674				47	3	2	112	2	6	456	46
	搬送人員	631				44	3	2	108	2	5	422	45
4	出動件数	567	4		1	28			87	3	3	397	44
	搬送人員	538	1			26			82	3	1	381	44
5	出動件数	646	2		1	58	3	5	88	1	7	425	56
	搬送人員	614			1	56	3	5	81	1	4	409	54
6	出動件数	603	1			40	2	4	94	3	1	403	55
	搬送人員	569				37	2	4	89	2	1	379	55
累計	出動件数	3,891	12	0	3	261	19	19	590	9	24	2,635	319
	搬送人員	3,677	3	0	1	249	19	19	559	8	18	2,488	313



3 署所別救急出動件数及び支援出動件数

区分 \ 署所別	本 署	北出張所	東出張所	西分署	一色分署	吉良分署	幡豆分署	計
救急出動	918	587	463	588	537	492	306	3,891
支援出動	307	23	10	95	125	85	80	725

支援出動:119番通報で傷病者が重症と予測される場合や高層建物で救急隊のみでの傷病者搬送が困難な場合等では、消防隊が救急隊の活動を支援している。支援出動の本署は、本部指令課3件を含む。

4 地区別救急出動件数及び搬送人員

地区別	区	分	計	事故種別									
				火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病
西 尾	出動件数	1,329	3			96	1	4	200	2	6	798	219
	搬送人員	1,256	1			92	1	4	191	2	5	744	216
平 坂	出動件数	411	2		1	22	2	2	66		4	298	14
	搬送人員	388	1			21	2	2	64		3	282	13
寺 津	出動件数	163	1			9	1	3	21	1	2	120	5
	搬送人員	154	1			8	1	3	19	1	2	115	4
福 地	出動件数	221	1			21	3		30	1	4	158	3
	搬送人員	204				20	3		29		4	145	3
室 場	出動件数	82				8	2		8		1	62	1
	搬送人員	82				8	2	5	7		1	59	
三 和	出動件数	247	2			28	4	5	19			167	22
	搬送人員	235				28	4		18			163	22
米 津	出動件数	138				11	2		21			102	2
	搬送人員	128				11	2	2	18			93	2
一 色	出動件数	528	3			29	1	2	90	2	5	360	36
	搬送人員	491				26	1	2	83	2	2	339	36
吉良	出動件数	503			1	27	2	2	82	2	2	377	8
	搬送人員	482				24	2	1	80	2	1	364	8
幡豆	出動件数	267			1	8	1	1	53	1		193	9
	搬送人員	255			1	9	1		50	1		184	9
市 外	出動件数	2				2							
	搬送人員	2				2							
計	出動件数	3,891	12		3	261	19	19	590	9	24	2,635	319
	搬送人員	3,677	3		1	249	19	19	559	8	18	2,488	313

5 年齢別搬送人員

年齢 性別	新生児 ～27日	乳幼児 28日～6歳	少年 7歳～17歳	成人 18歳～64歳	高齢者 65歳～	計
男		104	78	552	1,166	1,900
女	2	98	50	460	1,167	1,777
計	2	202	128	1,012	2,333	3,677

6 傷病程度別搬送人員

種 別	程度		死 亡		重 症		中等症		軽 症		その他		計	
	性別		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
火 災							2			1			2	1
自 然 災 害													0	0
水 難 事 故								1					0	1
交 通 事 故			1		4	4	37	23	106	74			148	101
労 働 災 害					1		9	2	7				17	2
運 動 競 技						1	7	1	10				17	2
一 般 負 傷			1		9	3	80	135	152	179			242	317
加 害									3	5			3	5
自 損 行 為			2	2				7	2	5			4	14
急 病			37	20	71	55	645	508	559	593			1,312	1,176
そ の 他				1	8	4	143	148	4	5			155	158
計			41	23	93	67	923	825	843	862	0	0	1,900	1,777
合 計			64		160		1,748		1,705		0		3,677	

7 出動件数の推移

年 種別	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	前年比
火 災	9	2	9	11	12	1
自然災害		2				
水難事故	9	3	2	6	3	△ 3
交通事故	210	192	230	228	261	33
労働災害	39	36	32	20	19	△ 1
運動競技	4	12	12	9	19	10
一般負傷	504	536	592	627	590	△ 37
加 害	6	4	5	9	9	
自損行為	22	30	31	29	24	△ 5
急 病	2,427	2,470	2,596	2,731	2,635	△ 96
そ の 他	254	263	268	300	319	19
計	3,484	3,550	3,777	3,970	3,891	△ 79
搬送人員	2,937	3,267	3,364	3,545	3,677	132

救助統計

目 次

1	令和8年上半期 救助業務の概要	1
2	救助概況	2
3	事故別出動状況	3
4	発生場所別出動状況	4
5	発生場所別活動状況	4
6	発生場所別救助人員	5
7	地区別出動件数及び人員	5
8	月別救助出動状況	6
9	出動件数の推移	6

1 令和8年上半期 救助業務の概要

消防機関が行う人命救助とは、火災、交通事故、水難事故、自然災害、機械等による事故等から、人力や機械力等を用いてその危険状態を排除し、被災者等を安全な場所に搬送する活動をいう。

出動件数の増加の主な要因は、「建物等による事故」が増加したことである。

(1) 出動件数

令和8年上半期における救助出動件数は37件で、前年同期の35件と比べ2件増加した。救助出動件数を月別にみると2月が11件（29.7%）と最も多く、次いで1月が10件（27.0%）であった。

さらに、救助出動件数を地区別にみると「西尾地区」が8件（21.6%）で最も多く発生し、次いで「平坂地区」及び「吉良地区」が各4件（各10.8%）、「福地地区」、「室場地区」、「三和地区」、「米津地区」、「一色地区」及び「幡豆地区」が各3件（各8.1%）の順であった。

(2) 事故種別

事故種別をみると「建物等による事故」の20件（54.1%）が最も多く、次いで「交通事故」の9件（24.3%）、「水難事故」、「機械による事故」の各3件（各8.1%）であった。

「建物等による事故」とは、建物、門、柵、へい等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう（意識障害等により建物内で身動きがとれず、ドアに鍵がかかっているため室内に入れないものも含む）。

(3) 救助人員

救助人員は22人で、前年同期の26人と比べ4人減少した。

事故種別でみると「建物等の事故」の11人（50.0%）が最も多く、次いで「交通事故」の8人（36.4%）、「水難事故」、「ガス及び酸欠事故」及び「その他の事故」の各1人（各4.5%）であった。

2 救助概況

区分		単位	令和 8 年 (A)	令和 7 年 (B)	増減数 (A) － (B)
出動件数		件	37	35	2
火災	建物			1	△ 1
	建物以外				
交通事故			9	12	△ 3
水難事故			3	2	1
風水害等自然災害事故					
機械による事故			3		3
建物等による事故			20	11	9
ガス及び酸欠事故			1	1	0
破裂事故					
その他の事故			1	8	△ 7
出動人員			人	546	514
火災	建物			36	△ 36
	建物以外				
交通事故		151		190	△ 39
水難事故		51		41	10
風水害等自然災害事故					
機械による事故		41			41
建物等による事故		277		128	149
ガス及び酸欠事故		14		13	1
破裂事故					
その他の事故		12		106	△ 94
救助人員		人		22	26
火災	建物			1	△ 1
	建物以外				
交通事故			8	8	0
水難事故			1	1	0
風水害等自然災害事故					
機械による事故					
建物等による事故			11	8	3
ガス及び酸欠事故			1	1	0
破裂事故					
その他の事故			1	7	△ 6

3 事故別出動状況

事故種別 区分		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出動件数				9	3		3	20	1		1	37
活動件数				6	1			13	1		1	22
救助人員				8	1			11	1		1	22
出動人員				151	51		41	277	14		12	546
活動人員				18	6			45	4		3	76
出動車両等	救助工作車			7	2		3	19	1		1	33
	はしご車											
	消防ポンプ自動車							2				2
	化学車				2			2	1			5
	タンク車			10	5		3	18			1	37
	指揮車			8	5		3	20	1		1	38
	救急車			19	3		3	20	1		1	47
	船舶											
	ヘリコプター											
	その他			2	9		1	1				13
	消防団											
	計			46	26		13	82	4		4	175

4 発生場所別出動状況

事故種別 発生場所		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
屋内	住居							20				20
	その他の屋内						3					3
屋外	道路			8								8
	水面			1	3							4
	山岳											
	その他の屋外								1		1	2
地下												
その他												
計				9	3		3	20	1		1	37

5 発生場所別活動状況

事故種別 発生場所		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
屋内	住居							13				13
	その他の屋内											
屋外	道路			5								5
	水面			1	1							2
	山岳											
	その他の屋外								1		1	2
地下												
その他												
計				6	1			13	1		1	22

6 発生場所別救助人員

発生場所		事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
			建物	建物以外									
屋内	住居								11				11
	その他の屋内												
屋外	道路				6								6
	水面				2	1							3
	山岳												
	その他の屋外									1		1	2
地下													
その他													
計					8	1			11	1		1	22

7 地区別出動件数及び人員

地区別	件数及び人員等	件数	台数	人員
西尾地区		8	32	111
平坂地区		4	22	60
寺津地区		2	10	30
福地地区		3	17	58
室場地区		3	14	40
三和地区		3	15	54
米津地区		3	12	39
一色地区		3	12	41
吉良地区		4	21	55
幡豆地区		3	16	45
管外		1	4	13
計		37	175	546

8 月別救助出動状況

月別 事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外									
1 月			2				8				10
2 月			4	1		2	3			1	11
3 月			2			1	2				5
4 月				1			2	1			4
5 月				1			3				4
6 月			1				2				3
計			9	3		3	20	1		1	37

9 出動件数の推移

年別 事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害事故	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
	建物	建物以外									
令和 4 年	2		7	8			8			8	33
令和 5 年	1		11	2	2		9	1		6	32
令和 6 年	1	1	8	3		1	8	2		4	28
令和 7 年	1		12	2			11	1		8	35
令和 8 年			9	3		3	20	1		1	37